

「連絡会の成り立ちと意義について」

1. 学童保育の変遷
2. 春日部市の学童保育
3. 父母会の役割
4. 父母会連絡会の活動

1. 学童保育の変遷

地域によってまちまちな学童保育

福岡県春日市の学童クラブ

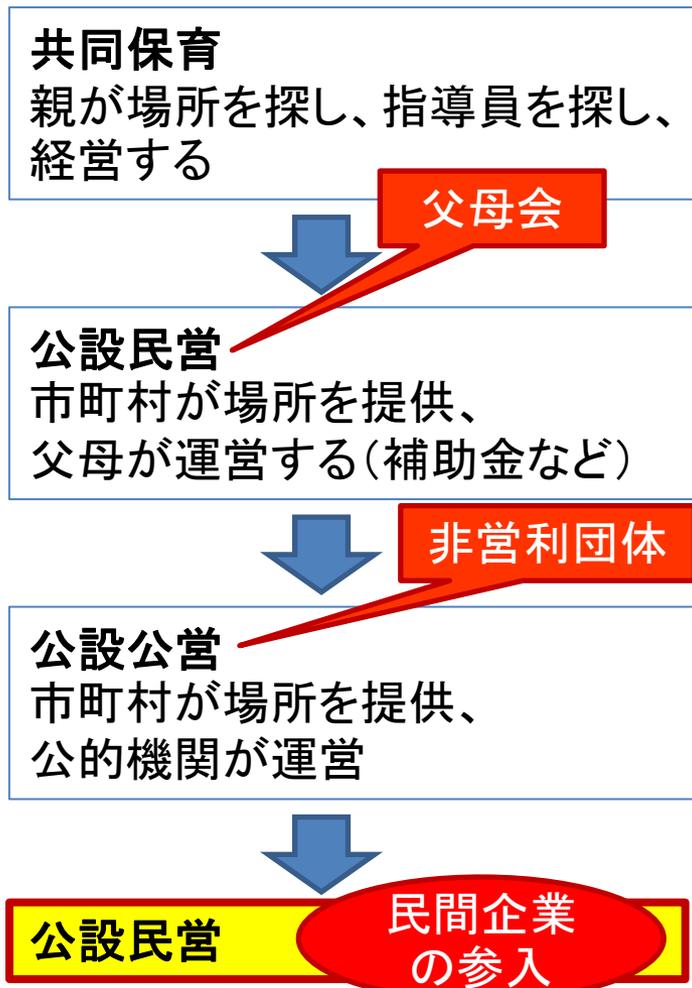
- ・公設民営((株)テノサポート)
- ・小学校敷地内設置
(市内全12校、全18クラブ)



	保育料
1～6年生	¥6000
2人目以降	¥3600

＜他地域の例＞ 草加市 保育料8800円
越谷市 保育料8500円、2人目4200円、3人目以降無料
広島市 保育料 無料 など

1. 学童保育の変遷



1967年 大畑に「共同保育の会」
(春日部初の学童保育)
その後他の地区にも広がる

自主運営
場所の確保
指導員の採用

1973年 埼玉県単独補助開始
春日部市学童保育連絡協議会 発足

補助金交渉

1996年 春日部市学童保育の会 発足

1998年 児童福祉法改正(初の法制化)
市内全小学校に公設公営学童設置

高学年の入室、指導員の継続雇用交渉

2008年 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
発足

増設、指導員の待遇改善など

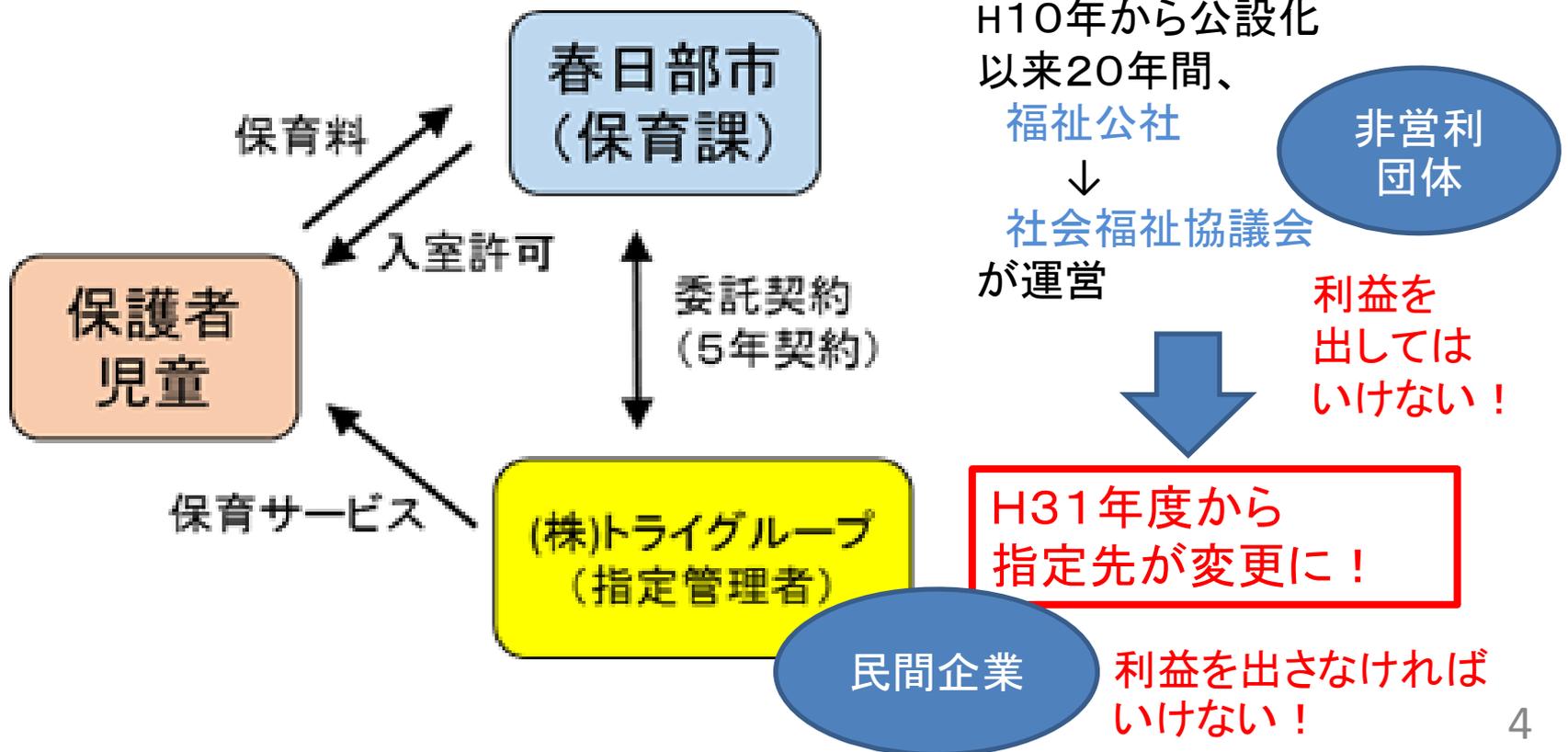
2015年 児童福祉法改正(新システム)
対象学年が6年生までに!

学童保育の制度は、長年の父母の運動の
成果として整備されてきた!

2. 春日部市の学童保育（放課後児童クラブ）

指定管理者制度により、

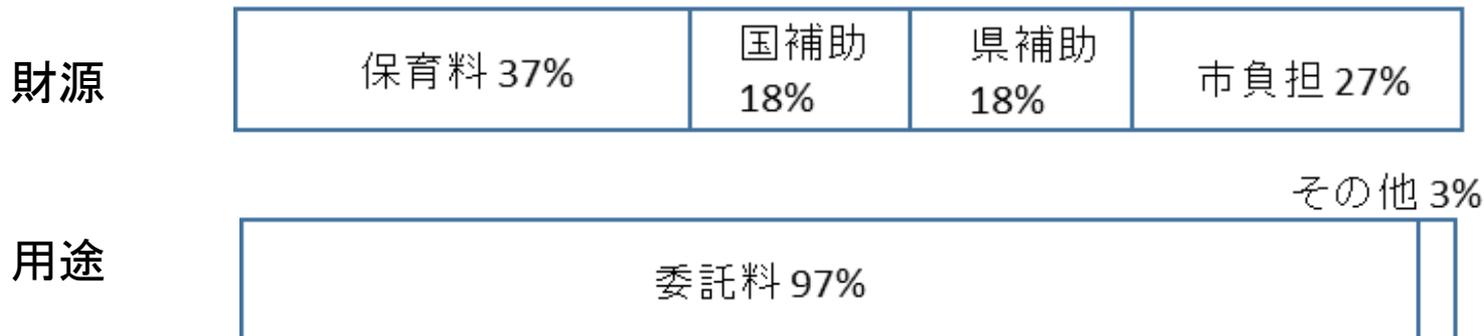
- ・市が施設を設置・管理
- ・(株)トライグループが運営



2. 春日部市の学童保育

※施設の建設、改修などの費用は含まれていません。

H30年度 放課後児童健全育成時事業（市予算額） 380,727千円



H30年度 放課後児童クラブ管理運営事業（社協予算額） 399,863千円



運営経費のほとんどは人件費

3. 父母会の役割

(民営の場合)

作り、運営する

学童保育が足りない地域では、まず「作る」運動が必要です。多くの場合、必要とする父母が中心となって活動する事になります。

全国学童保育連絡協議会
「父母会ハンドブック」より

子ども達の生活を形成する

父母と指導員が話し合うことにより、子ども達の放課後の生活を豊かにすることができます。定例会での話し合いや、日々の伝え合い、交流が大切です。

交流し、支え合う

働きながらの子育ては様々な困難があります。働く親同士が交流し、子育てを中心として話し合うことで、お互いの精神的な支えになることができます。

改善する

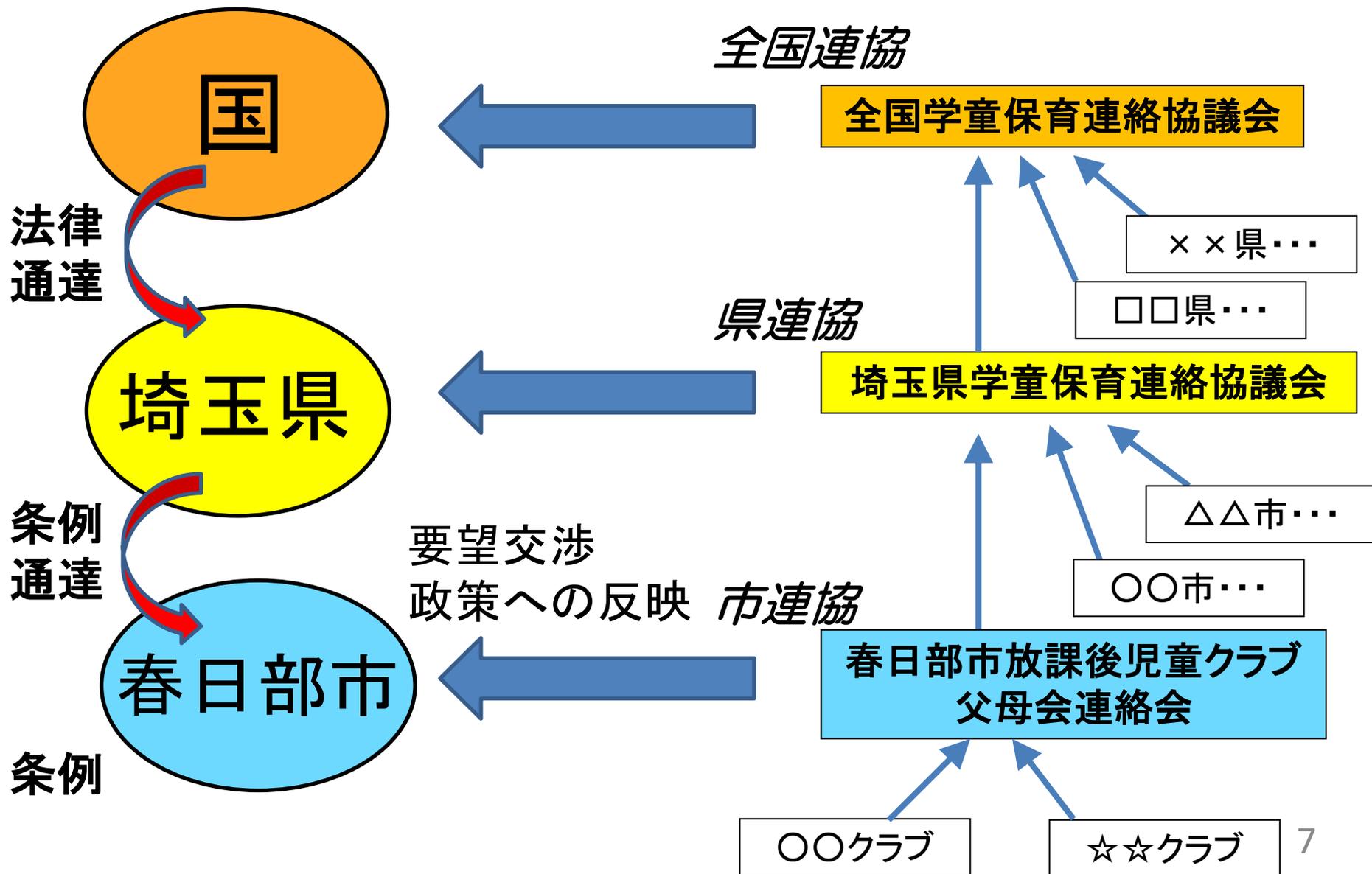
保育環境の改善や指導員の労働条件など、学童保育の改善には父母の強い働きかけが必要です。

学童保育全体をより良くする

個々の学童保育の問題は、地域の学童保育に共通する事が多く有ります。行政に働きかけて、地域全体のレベルを上げる取り組みが必要です。

3. 父母会の役割

父母の組織と自治体の関係



全国学童保育研究集会(全国研)

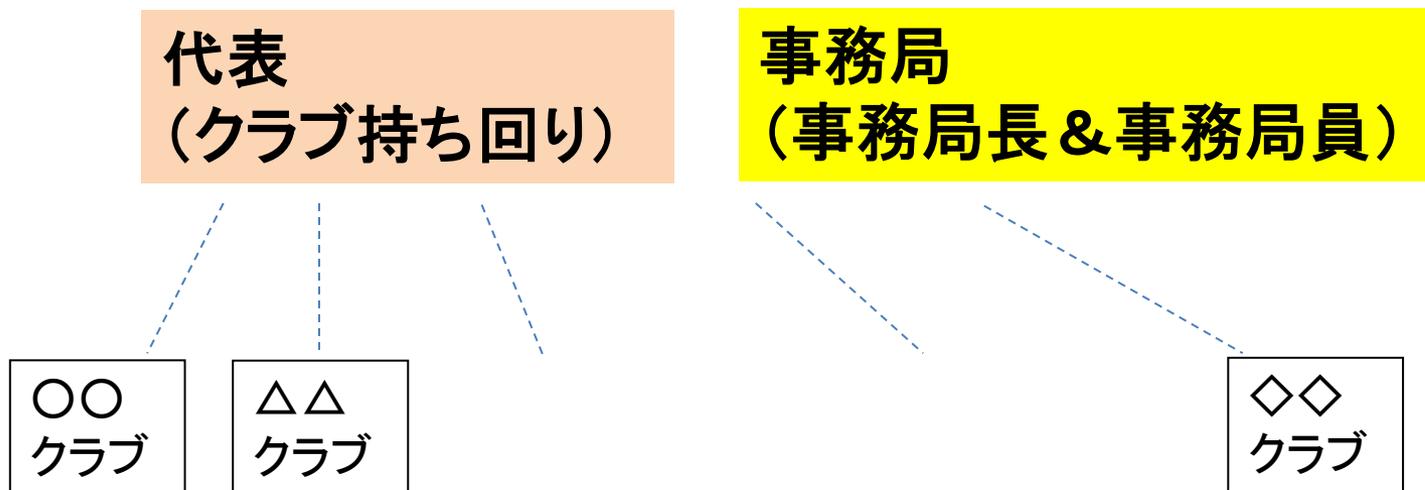
(主催:全国学童保育連絡協議会)



**2012年10月5日～6日 埼玉県にて開催 全国から5802名が参加
全国の指導員と父母が共に学び、より良い学童を作るために考える集会**

4. 父母会連絡会の活動

組織と会議



総会	年1回。予算、年間計画、重要事項の決定
代表者会議	年3回。重要事項決定、意見集約、情報交換
事務局会議	不定期。情報収集、資料作成、会議準備

- ・学童保育について、他クラブや他地域の情報が得られる
- ・学童保育で起きている問題や悩みなどについて相談できる
- ・誰もが自由に参加でき、自由に意見が言える

4. 父母会連絡会の活動

<昨年度の活動状況>

6/23 第1回代表者会議

- ・指導員(常勤の先生)が足りない! 定例会も短時間に
- ・日常生活はさほど変わっていない…指導員の多くが残ったおかげ

8/2 「放課後児童クラブ常勤支援員の欠員に対する抗議文」提出。

→ 市としては「欠員ではない(一部クラブで不足あるが、全体は足りている)」

学童まつり開催に向けた働きかけ

- ・トライに対して「まつり計画書」提出

→ 却下 → 指導員有志による自主開催へ

10/19 第2回代表者会議

- ・相変わらずの欠員 行事の制約(日曜日は×)など

1/26 第3回代表者会議

- ・来年度に向けた引継ぎのお願い 役員決めの状況など情報交換

常勤支援員数把握のための活動

- ・情報公開制度により、全クラブのシフト表を入手 → 常勤は64名程度!

5/26 住民監査請求

- ・仕様書、協定書通りに常勤支援員が配置されていない

→ 7/22 棄却:「常勤の定義は就労時間では無い」

最後に

今我が子たちが生活している放課後児童クラブは、過去に多くの父母たちが力を合わせて行政に訴えてきた結果として存在しています。

未来の春日部の子どもたちの学童生活がどのような形になっているのか、今の私たちにも責任があるのだと思います。今何をすべきか、一緒に考えていきましょう。